様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	福岡ＥＣＯ動物海洋専門学校
設置者名	学校法人滋慶学園

１.「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名		夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
文化・教養　専門課程	エコ・テクノロジー科（4年制）	動物園・水族館＆テクノロジー専攻（1,2年生）	夜・通信	360時間	320時間	
		グリーンライフ・アドベンチャー専攻（2年生） ECOアドベンチャーツーリズム専攻（1年生）	夜・通信	360時間	320時間	
	動物看護科（4年制）	動物看護師＆ペットスペシャリスト専攻（1,2年生）	夜・通信	330時間	320時間	
	動物看護科（3年制）	動物看護師専攻（昼間Ⅰ部・1,2年生） 動物看護師専攻（昼間Ⅱ部・1,2年生）	夜・通信	270時間	240時間	
	エコ・コミュニケーション科（3年制）	ドッグマスター専攻（3年生）	夜・通信	240時間	240時間	
		動物看護師＆福祉・理学療法専攻（3年生）	夜・通信	270時間	240時間	
		動物園＆水族館エンターテインメント専攻（3年生）	夜・通信	240時間	240時間	
		ペットトリマー専攻（1,2年生）	夜・通信	240時間	240時間	
		動物園・動物飼育専攻（1,2年生）	夜・通信	240時間	240時間	
		水族館・アクアリスト専攻（1,2年生）	夜・通信	240時間	240時間	
		水族館・マリンリゾート専攻（2,3年生）	夜・通信	240時間	240時間	
	エコ・コミュニケーション科（2年制）	ドッグトレーナー専攻	夜・通信	180時間	160時間	
		総合ペットショップ専攻	夜・通信	180時間	160時間	
		ドルフィントレーナー専攻	夜・通信	180時間	160時間	

（備考）

●エコ・テクノロジー科（4年制）、動物看護科（4年制及び3年制）、エコ・コミュニケーション科（3年制）のペットトリマー専攻、動物園・動物飼育専攻、水族館・アクアリスト専攻は、2022年度より募集開始のため、1,2年生のみ在学中。

●エコ・コミュニケーション科（3年制）のドッグマスター専攻、動物看護師＆福祉・理学療法専攻、動物園&水族館エンターテインメント専攻は、2022年度より募集停止のため、3年生のみ在学中。

●エコ・コミュニケーション科（3年制）の水族館・マリンリゾート専攻は、2023年度より募集停止のため、2,3年生のみ在学中。

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

学校ホームページ（https://www.eco.ac.jp/school/public_info）

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	福岡ＥＣＯ動物海洋専門学校
設置者名	学校法人滋慶学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

学校ホームページ（https://www.eco.ac.jp/school/public_info）

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	株式会社役員	令和３年６月１日～令和６年５月31日	地元の名士として学校と地域の連携を図る。
非常勤	株式会社役員	令和３年６月１日～令和６年５月31日	地元の名士として学校と地域の連携を図る。
（備考）			

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	福岡ＥＣＯ動物海洋専門学校
設置者名	学校法人滋慶学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書（シラバス）を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

毎年５月ごろ教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後，年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。３月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。４月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。

①科目名（英語表記含む）
②学科・コース
③必修選択の別
④授業形態
⑤年次
⑥総時間（単位）
⑦担当教員
⑧開講区分、曜日・時間
⑨授業の学習内容と心構え
　※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容
⑩到達目標
⑪使用教科書・教材・参考書
⑫授業外における学習
⑬授業概要・回数
⑭評価の方法、内容、時期等
⑮その他特記事項

授業計画書の公表方法	・学校ホームページ （https://www.eco.ac.jp/school/public_info） ・学生には第１回目の授業にてプリント配布

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

試験規程を制定し、学生便覧に掲載している。
その主な内容は以下の通り。

●試験の受験資格
1)次のいずれかに該当する者は、定期試験の受験資格を失う場合がある。
　a 総出席日数が３分の２に満たない者
　b 平常授業内での課題未提出数が著しく多い者
　c 授業料その他学費の未納者
2)前項の該当する者の中で、教務部が認める正当な理由がなく、卒業の見込みがない者については、退学または除籍処分する場合がある。
3)休学中の者は受験資格がない。

●試験の方法
試験は、筆記試験、口頭試験または実技試験で行うが、科目によってはレポートまたは、課題の提出によって試験に代えることがある。

●成績評価
1)各科目について出席率、授業態度、臨時及び定期試験の成績、レポート並びに課題の成績を総合的に勘案し、次項に定める４段階評価とする。
2)Ａ・Ｂ・Ｃを合格とし、Ｄを不合格とする。
　Ａ：１００～８０点
　Ｂ：７９～７０点
　Ｃ：６９～６０点
　Ｄ：５９～　０点

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要）

●ＧＰＡ制度（ Grade Point Average ）を導入し、学生便覧に掲載。
欧米の大学や高校で一般的に使われている成績評価制度で、各科目の成績から特定の方式によって算出される学生の成績評価値のことで、履修登録した科目毎の５段階評価を４．０から０までの点数（ＧＰ＝グレード・ポイント）に置き換え、単位数をかけ、その総和を履修登録単位数の合計で割った平均値。
将来、海外の大学・大学院などへの留学並びに外資系企業や海外での就職の際に、海外でも通用する成績評価制度。

●ＧＰＡの評価対象科目
評価対象となる科目は、基本的に通常授業科目で、かつ試験等で点数評価をされる科目。対象とならない科目は、特別教育分野の科目で、点数評価ではなく単位認定のみされる科目、例えば「海外実学研修」、「学園祭」など。

●ＧＰＡの成績評価基準

出席率	評価点数	評価グレード	合 否
66.7%以上	100～90 点	S(4.0)	合格
	89～80 点	A(3.0)	
	79～70 点	B(2.0)	
	69～60 点	C(1.0)	
	59～0 点	F(0.0)	不合格

※規定の出席率を満たし、S～C 評価の場合は単位認定され(合格)、
Ｆ評価は単位認定されない(不合格)。

●ＧＰＡの計算方法（例）
（例）７科目履修として

○○概論	（２単位）	９５点	（Ｓ）	４．０（ＧＰ）
××演習	（４単位）	８０点	（Ａ）	３．０（ＧＰ）
△△研究	（２単位）	７５点	（Ｂ）	２．０（ＧＰ）
□□学	（２単位）	９３点	（Ｓ）	４．０（ＧＰ）
●●制作	（４単位）	７６点	（Ｂ）	２．０（ＧＰ）
■■企画	（３単位）	６３点	（Ｃ）	１．０（ＧＰ）
●●演習	（１単位）	５７点	（Ｆ）	０．０（ＧＰ）
合　計	１８単位			

４．０×（２＋２）単位＋３．０×（４）単位＋２．０×（２＋４）単位＋１．０×（３）単位
１８単位

ＧＰＡ＝　４３単位　／　１８単位　≒　２．３９

客観的な指標の算出方法の公表方法	・学校ホームページ (https://www.eco.ac.jp/school/public_info)

４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） 卒業・進級判定基準を制定し、学生便覧に掲載している。 (1)卒業の判定基準は以下のとおりとする。 ｉ）各年次 60 単位※1(900 時間)以上を修得し、最高学年において卒業認定された者は卒業することができる。(※1 実習科目を含む場合は 60 単位以下) ⅱ）ただし、動物看護科については、3・4 年制とも当該学年において必修科目のうち履修認定されない科目が 1 科目以上あれば、進級・卒業できない。 ⅲ）該当する者は、卒業判定会議により最終決定する。 (2)(1)の基準を満たさない者は、卒業保留となる。 (3)卒業に必要な単位を修得している場合であっても、学費が完納されていない場合は卒業認定されない。 (4)卒業年度の 3 月 31 日を超え、卒業単位未修得による卒業保留の場合、同年 4 月 1 日からの次年度において、3 月 31 日までに卒業認定されない場合は、3 月 31 日付で除籍となる。なお、同年 4 月 1 日以降は規定の在学期間を超えるため、学生としての身分はなく、よって学生証も発行されない。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	・学校ホームページ (https://www.eco.ac.jp/school/public_info)

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	福岡ＥＣＯ動物海洋専門学校
設置者名	学校法人滋慶学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.eco.ac.jp/school/public_info
収支計算書又は損益計算書	https://www.eco.ac.jp/school/public_info
財産目録	https://www.eco.ac.jp/school/public_info
事業報告書	https://www.eco.ac.jp/school/public_info
監事による監査報告（書）	https://www.eco.ac.jp/school/public_info

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	エコ・テクノロジー科（4年制） 動物園・水族館 &テクノロジー専攻		○

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3600 単位時間	930 単位時間	1740 単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			2670 単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
エコ・テクノロジー科（4年制） 40 人の内数	17 人 （うち 13 人）	0 人	2 人 （うち 1 人）	38 人 （うち 25 人）	40 人 （うち 26 人）

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

毎年５月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後，年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。３月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。４月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。

①科目名（英語表記含む）
②学科・コース
③必修選択の別
④授業形態
⑤年次
⑥総時間（単位）
⑦担当教員
⑧開講区分、曜日・時間
⑨授業の学習内容と心構え
※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容
⑩到達目標
⑪使用教科書・教材・参考書
⑫授業外における学習
⑬授業概要・回数
⑭評価の方法、内容、時期等
⑮その他特記事項

成績評価の基準・方法

・出席率、授業態度と参加度
・臨時及び定期試験の成績
・レポート並びに課題成績
上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する

卒業・進級の認定基準

進級：各年次の合計修得単位が 900 時間(60 単位)以上
（実習科目を含む場合には、60 単位以下）
卒業：4年間の合計修得単位が 3600 時間(240 単位)以上

学修支援等

・クラス担任制
担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）

（主な就職、業界等）
（動物園、水族館、動物関連テクノロジー施設等を想定）

（就職指導内容）
・就職ガイダンス
（業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど）
・履歴書作成支援
・求人案内
・面接指導、就職筆記試験対策
・学内個別企業説明会、就職模擬面接会
・学内合同企業説明会(学内で各企業が説明)今年は６月に対面・オンラインで実施。

（主な学修成果（資格・検定等））
・生物分類技能検定３級、４級
・愛玩動物飼養管理士２級
・潜水士
・PADI オープンウォーターC カード
・ECO アニマルコーディネーター検定
・Microsoft Azure AI Fundamentals AI-900
・JESC 認定コミュニケーションスキルアップ検定

（備考）（任意記載事項）
・2022 年度より開設したため、2022 年度卒業生なし
・現在 1、2 年生のみ在学中

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
7 人	0 人	0.0%

（中途退学の主な理由）

（中退防止・中退者支援のための取組）
1. スクールカウンセラーとの連携を強化
2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る
3. 修学支援新制度・奨学金の活用などの指導を行う

<table>
<tr><th colspan="2">分野</th><th>課程名</th><th>学科名</th><th>専門士</th><th>高度専門士</th></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>文化・教養専門課程</td><td>エコ・テクノロジー科（4年制）
グリーンライフ・アドベンチャー専攻
ECOアドベンチャーツーリズム専攻</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">3600単位時間</td><td>360
単位時間</td><td>2280
単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">2640単位時間</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>生徒総定員数</th><th>生徒実員</th><th>うち留学生数</th><th>専任教員数</th><th>兼任教員数</th><th>総教員数</th></tr>
<tr><td>エコ・テクノロジー科（4年制）
40人の内数</td><td>17人
（うち4人）</td><td>0人</td><td>2人
（うち1人）</td><td>38人
（うち13人）</td><td>40人
（うち14人）</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

毎年５月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後，年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。３月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。４月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。

①科目名（英語表記含む）
②学科・コース
③必修選択の別
④授業形態
⑤年次
⑥総時間（単位）
⑦担当教員
⑧開講区分、曜日・時間
⑨授業の学習内容と心構え
※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容
⑩到達目標
⑪使用教科書・教材・参考書
⑫授業外における学習
⑬授業概要・回数
⑭評価の方法、内容、時期等
⑮その他特記事項

成績評価の基準・方法

・出席率、授業態度と参加度
・臨時及び定期試験の成績
・レポート並びに課題成績
上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する

卒業・進級の認定基準

進級：各年次の合計修得単位が900時間(60単位)以上
（実習科目を含む場合には、60単位以下）
卒業：4年間の合計修得単位が3600時間(240単位)以上

学修支援等

・クラス担任制
担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）

（主な就職、業界等）
（自然環境保護施設、観光・レジャー施設、エコツアー、インタープリターを想定）

（就職指導内容）
・就職ガイダンス
（業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど）
・履歴書作成支援
・求人案内
・面接指導、就職筆記試験対策
・学内個別企業説明会、就職模擬面接会
・学内合同企業説明会(学内で各企業が説明)今年は６月に対面・オンラインで実施。

（主な学修成果（資格・検定等））
・生物分類技能検定３級、４級
・ビオトープ管理士
・キャンプインストラクター
・キャンプディレクター
・Microsoft Azure AI Fundamentals AI-900
・JESC 認定コミュニケーションスキルアップ検定

（備考）（任意記載事項）
・2022 年度より開設したため、2022 年度卒業生なし
・現在 1、2 年生のみ在学中

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3 人	1 人	33.3%

（中途退学の主な理由）
・進路変更

（中退防止・中退者支援のための取組）
1. スクールカウンセラーとの連携を強化
2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る
3. 修学支援新制度・奨学金の活用などの指導を行う

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td colspan="2">高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>文化・教養専門課程</td><td colspan="2">動物看護科（4年制）
動物看護師&ペット
スペシャリスト専攻</td><td></td><td colspan="2">○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業
年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総
授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">3600 単位時間</td><td>960
単位時間</td><td>825
単位時間</td><td>255
単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">2040 単位時間</td></tr>
</table>

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
60 人	47 人	0 人	2 人	16 人	18 人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

毎年５月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後，年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。３月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。４月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。

①科目名（英語表記含む）
②学科・コース
③必修選択の別
④授業形態
⑤年次
⑥総時間（単位）
⑦担当教員
⑧開講区分、曜日・時間
⑨授業の学習内容と心構え
※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容
⑩到達目標
⑪使用教科書・教材・参考書
⑫授業外における学習
⑬授業概要・回数
⑭評価の方法、内容、時期等
⑮その他特記事項

成績評価の基準・方法

・出席率、授業態度と参加度
・臨時及び定期試験の成績
・レポート並びに課題成績
上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する

卒業・進級の認定基準

進級：各年次の合計修得単位が 900 時間(60 単位)以上
（実習科目を含む場合には、60 単位以下）
卒業：4年間の合計修得単位が 3600 時間(218 単位)以上

学修支援等

・クラス担任制
担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）
（主な就職、業界等） （動物病院、ペットサロン、ペット関連施設を想定）			
（就職指導内容） ・就職ガイダンス （業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど） ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・学内個別企業説明会、就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内で各企業が説明)今年は６月に対面・オンラインで実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・愛玩動物看護師 ・JKC 公認トリマーC 級ライセンス ・ECO グルーミング検定 A 級、B 級 ・JESC 認定コミュニケーションスキルアップ検定			
（備考）（任意記載事項） ・2022 年度より開設したため、2022 年度卒業生なし ・現在 1、2 年生のみ在学中			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
28 人	2 人	7.1%
（中途退学の主な理由） ・精神面で課題がある		
（中退防止・中退者支援のための取組） 1. スクールカウンセラーとの連携を強化 2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る 3. 修学支援新制度・奨学金の活用などの指導を行う		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>文化・教養専門課程</td><td colspan="2">動物看護科（昼間Ⅰ部・3年制）
動物看護科（昼間Ⅱ部・3年制）
動物看護師専攻</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">2700 単位時間</td><td>1200
単位時間</td><td>1050
単位時間</td><td>300
単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">2550 単位時間</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="2">生徒総定員数</td><td>生徒実員</td><td>うち留学生数</td><td>専任教員数</td><td>兼任教員数</td><td>総教員数</td></tr>
<tr><td colspan="2">160 人
（各部 80 人）</td><td>138 人</td><td>0 人</td><td>4 人</td><td>21 人</td><td>25 人</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

毎年５月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後，年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。３月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。４月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。

①科目名（英語表記含む）
②学科・コース
③必修選択の別
④授業形態
⑤年次
⑥総時間（単位）
⑦担当教員
⑧開講区分、曜日・時間
⑨授業の学習内容と心構え
※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容
⑩到達目標
⑪使用教科書・教材・参考書
⑫授業外における学習
⑬授業概要・回数
⑭評価の方法、内容、時期等
⑮その他特記事項

成績評価の基準・方法

・出席率、授業態度と参加度
・臨時及び定期試験の成績
・レポート並びに課題成績
上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する

卒業・進級の認定基準

進級：各年次の合計修得単位が 900 時間(60 単位)以上
（実習科目を含む場合には、60 単位以下）
卒業：3 年間の合計修得単位が 2700 時間(160 単位)以上

学修支援等

・クラス担任制
担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）
（主な就職、業界等） （動物病院を想定）			
（就職指導内容） ・就職ガイダンス （業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど） ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・学内個別企業説明会、就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内で各企業が説明)今年は６月に対面・オンラインで実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・愛玩動物看護師（国家資格） ・JESC 認定コミュニケーションスキルアップ検定			
（備考）（任意記載事項） ・2022 年度より開設したため、2022 年度卒業生なし ・現在 1、2 年生のみ在学中			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
75 人	5 人	6.7%
（中途退学の主な理由） ・学習面で課題がある		
（中退防止・中退者支援のための取組） 1. スクールカウンセラーとの連携を強化 2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る 3. 修学支援新制度・奨学金の活用などの指導を行う		

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>文化・教養専門課程</td><td colspan="2">エコ・コミュニケーション科（3 年制）
ドッグマスター専攻</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3 年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">2700 単位時間</td><td>405
単位時間</td><td>1320
単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">1725 単位時間</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>生徒総定員数</td><td>生徒実員</td><td>うち留学生数</td><td>専任教員数</td><td>兼任教員数</td><td>総教員数</td></tr>
<tr><td>エコ・コミュニケーション科（3 年制）
280 人の内数</td><td>304 人
（うち 18 人）</td><td>0 人</td><td>12 人
（うち 1 人）</td><td>102 人
（うち 11 人）</td><td>114 人
（うち 12 人）</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

毎年５月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後，年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。３月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。４月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。

①科目名（英語表記含む）
②学科・コース
③必修選択の別
④授業形態
⑤年次
⑥総時間（単位）
⑦担当教員
⑧開講区分、曜日・時間
⑨授業の学習内容と心構え
※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容
⑩到達目標
⑪使用教科書・教材・参考書
⑫授業外における学習
⑬授業概要・回数
⑭評価の方法、内容、時期等
⑮その他特記事項

成績評価の基準・方法

・出席率、授業態度と参加度
・臨時及び定期試験の成績
・レポート並びに課題成績
上記項目を総合的に勘案し、4 段階評価する

卒業・進級の認定基準

進級：各年次の合計修得単位が 900 時間(60 単位)以上
（実習科目を含む場合には、60 単位以下）
卒業：3 年間の合計修得単位が 2700 時間(180 単位)以上

学修支援等

・クラス担任制
担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
18 人 （100%）	0 人 （0.0%）	18 人 （100%）	0 人 （0.0%）

（主な就職、業界等）
動物病院、ペットサロン、犬の訓練所　他

（就職指導内容）
・就職ガイダンス
（業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど）
・履歴書作成支援
・求人案内
・面接指導、就職筆記試験対策
・学内個別企業説明会、就職模擬面接会
・学内合同企業説明会(学内で各企業が説明)今年は６月に対面・オンラインで実施。

（主な学修成果（資格・検定等））
・愛玩動物看護師（国家資格）
・JKC 公認トリマーC 級ライセンス
・ECO グルーミング検定 A 級

（備考）（任意記載事項）
・2022 年度より募集停止のため、現在 3 年生のみ在学中

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
39 人	2 人	5.1%

（中途退学の主な理由）
・体調不良　・進路変更

（中退防止・中退者支援のための取組）
1. スクールカウンセラーとの連携を強化
2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る
3. 修学支援新制度・奨学金の活用などの指導を行う

<table>
<tr><th colspan="2">分野</th><th>課程名</th><th>学科名</th><th>専門士</th><th>高度専門士</th></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>文化・教養専門課程</td><td>エコ・コミュニケーション科（3 年制）
動物看護師＆
福祉・理学療法専攻</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業
年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総
授業時数又は総単位数</td><td colspan="4">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3 年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">2700 単位時間</td><td>405
単位時間</td><td>1200
単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">1605 単位時間</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>生徒総定員数</th><th>生徒実員</th><th>うち留学生数</th><th>専任教員数</th><th>兼任教員数</th><th>総教員数</th></tr>
<tr><td>エコ・コミュニケーション科（3 年制）
280 人の内数</td><td>304 人
（うち 20 人）</td><td>0 人</td><td>12 人
（うち 1 人）</td><td>102 人
（うち 12 人）</td><td>114 人
（うち 13 人）</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

毎年５月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後，年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。３月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。４月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。

①科目名（英語表記含む）
②学科・コース
③必修選択の別
④授業形態
⑤年次
⑥総時間（単位）
⑦担当教員
⑧開講区分、曜日・時間
⑨授業の学習内容と心構え
※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容
⑩到達目標
⑪使用教科書・教材・参考書
⑫授業外における学習
⑬授業概要・回数
⑭評価の方法、内容、時期等
⑮その他特記事項

成績評価の基準・方法

・出席率、授業態度と参加度
・臨時及び定期試験の成績
・レポート並びに課題成績
上記項目を総合的に勘案し、4 段階評価する

卒業・進級の認定基準

進級：各年次の合計修得単位が 900 時間(60 単位)以上
（実習科目を含む場合には、60 単位以下）
卒業：3 年間の合計修得単位が 2700 時間(180 単位)以上

学修支援等

・クラス担任制
担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
11 人 （100%）	0 人 （0.0%）	9 人 （81.8%）	2 人 （18.2%）
（主な就職、業界等） 動物病院　他			
（就職指導内容） ・就職ガイダンス （業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど） ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・学内個別企業説明会、就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内で各企業が説明)今年は６月に対面・オンラインで実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・愛玩動物看護師（国家資格） ・日本ペットマッサージ協会認定資格アカデミックコース			
（備考）（任意記載事項） ・2022 年度より募集停止のため、現在 3 年生のみ在学中			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
31 人	0 人	0.0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 1. スクールカウンセラーとの連携を強化 2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る 3. 修学支援新制度・奨学金の活用などの指導を行う		

<table>
<tr><th colspan="2">分野</th><th>課程名</th><th colspan="2">学科名</th><th>専門士</th><th>高度専門士</th></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>文化・教養専門課程</td><td colspan="2">エコ・コミュニケーション科（3 年制）
動物園＆水族館エンターテインメント専攻</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3 年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">2700 単位時間</td><td>270
単位時間</td><td>960
単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">1230 単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="2">生徒総定員数</td><td>生徒実員</td><td colspan="2">うち留学生数</td><td>専任教員数</td><td>兼任教員数</td><td>総教員数</td></tr>
<tr><td colspan="2">エコ・コミュニケーション科（3 年制）
280 人の内数</td><td>304 人
（うち 8 人）</td><td colspan="2">0 人</td><td>12 人
（うち 1 人）</td><td>102 人
（うち 7 人）</td><td>114 人
（うち 8 人）</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

毎年５月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後，年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。３月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。４月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。

①科目名（英語表記含む）
②学科・コース
③必修選択の別
④授業形態
⑤年次
⑥総時間（単位）
⑦担当教員
⑧開講区分、曜日・時間
⑨授業の学習内容と心構え
※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容
⑩到達目標
⑪使用教科書・教材・参考書
⑫授業外における学習
⑬授業概要・回数
⑭評価の方法、内容、時期等
⑮その他特記事項

成績評価の基準・方法

・出席率、授業態度と参加度
・臨時及び定期試験の成績
・レポート並びに課題成績
上記項目を総合的に勘案し、4 段階評価する

卒業・進級の認定基準

進級：各年次の合計修得単位が 900 時間(60 単位)以上
（実習科目を含む場合には、60 単位以下）
卒業：3 年間の合計修得単位が 2700 時間(180 単位)以上

学修支援等

・クラス担任制
担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
5 人 （100%）	0 人 （0.0%）	4 人 （80.0%）	1 人 （20.0%）

（主な就職、業界等）
動物園、水族館、動物関連エンターテインメント施設　他

（就職指導内容）
・就職ガイダンス
（業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど）
・履歴書作成支援
・求人案内
・面接指導、就職筆記試験対策
・学内個別企業説明会、就職模擬面接会
・学内合同企業説明会(学内で各企業が説明)今年は６月に対面・オンラインで実施。

（主な学修成果（資格・検定等））
・生物分類技能検定 3 級、4 級
・愛玩動物飼養管理士 2 級
・乗馬技能検定 4 級、5 級

（備考）（任意記載事項）
・2022 年度より募集停止のため、現在 3 年生のみ在学中

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
13 人	0 人	0.0%

（中途退学の主な理由）

（中退防止・中退者支援のための取組）
1. スクールカウンセラーとの連携を強化
2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る
3. 修学支援新制度・奨学金の活用などの指導を行う

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>文化・教養専門課程</td><td colspan="2">エコ・コミュニケーション科（3 年制）
ペットトリマー専攻</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3 年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">2700 単位時間</td><td>570
単位時間</td><td>2580
単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">3150 単位時間</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>生徒総定員数</td><td>生徒実員</td><td>うち留学生数</td><td>専任教員数</td><td>兼任教員数</td><td>総教員数</td></tr>
<tr><td>エコ・コミュニケーション科（3 年制）
280 人の内数</td><td>304 人
（うち 47 人）</td><td>0 人</td><td>12 人
（うち 2 人）</td><td>102 人
（うち 17 人）</td><td>114 人
（うち 19 人）</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

毎年５月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後，年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。３月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。４月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。

①科目名（英語表記含む）
②学科・コース
③必修選択の別
④授業形態
⑤年次
⑥総時間（単位）
⑦担当教員
⑧開講区分、曜日・時間
⑨授業の学習内容と心構え
※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容
⑩到達目標
⑪使用教科書・教材・参考書
⑫授業外における学習
⑬授業概要・回数
⑭評価の方法、内容、時期等
⑮その他特記事項

成績評価の基準・方法

・出席率、授業態度と参加度
・臨時及び定期試験の成績
・レポート並びに課題成績
上記項目を総合的に勘案し、4 段階評価する

卒業・進級の認定基準

進級：各年次の合計修得単位が 900 時間(60 単位)以上
（実習科目を含む場合には、60 単位以下）
卒業：3 年間の合計修得単位が 2700 時間(180 単位)以上

学修支援等

・クラス担任制
担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）
（主な就職、業界等） （ペットサロン、ペットショップを想定）			
（就職指導内容） ・就職ガイダンス （業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど） ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・学内個別企業説明会、就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内で各企業が説明)今年は６月に対面・オンラインで実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・JKC 公認トリマーC 級ライセンス ・ECO グルーミング検定 A 級、B 級 ・ECO アニマルコーディネーター検定 ・JESC 認定コミュニケーションスキルアップ検定			
（備考）（任意記載事項） ・2022 年度より開設したため、2022 年度卒業生なし ・現在 1、2 年生のみ在学中			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
27 人	5 人	18.5%
（中途退学の主な理由） ・環境不適応　・進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 1. スクールカウンセラーとの連携を強化 2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る 3. 修学支援新制度・奨学金の活用などの指導を行う		

<table>
<tr><th colspan="2">分野</th><th>課程名</th><th colspan="2">学科名</th><th>専門士</th><th>高度専門士</th></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>文化・教養専門課程</td><td colspan="2">エコ・コミュニケーション科（3 年制）
動物園・動物飼育
専攻</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業
年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総
授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3 年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">2700 単位時間</td><td>570
単位時間</td><td>2550
単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">3120 単位時間</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>生徒総定員数</th><th>生徒実員</th><th>うち留学生数</th><th>専任教員数</th><th>兼任教員数</th><th>総教員数</th></tr>
<tr><td>エコ・コミュニケーション科（3 年制）
280 人の内数</td><td>304 人
（うち 129 人）</td><td>1 人</td><td>12 人
（うち 4 人）</td><td>102 人
（うち 22 人）</td><td>114 人
（うち 26 人）</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

毎年５月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後，年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。３月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。４月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。

①科目名（英語表記含む）
②学科・コース
③必修選択の別
④授業形態
⑤年次
⑥総時間（単位）
⑦担当教員
⑧開講区分、曜日・時間
⑨授業の学習内容と心構え
※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容
⑩到達目標
⑪使用教科書・教材・参考書
⑫授業外における学習
⑬授業概要・回数
⑭評価の方法、内容、時期等
⑮その他特記事項

成績評価の基準・方法

・出席率、授業態度と参加度
・臨時及び定期試験の成績
・レポート並びに課題成績
上記項目を総合的に勘案し、4 段階評価する

卒業・進級の認定基準

進級：各年次の合計修得単位が 900 時間(60 単位)以上
（実習科目を含む場合には、60 単位以下）
卒業：3 年間の合計修得単位が 2700 時間(180 単位)以上

学修支援等

・クラス担任制
担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）
（主な就職、業界等） （動物園、サファリパーク、ふれあい動物園、観光牧場を想定）			
（就職指導内容） ・就職ガイダンス （業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど） ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・学内個別企業説明会、就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内で各企業が説明)今年は６月に対面・オンラインで実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・生物分類技能検定 3 級、4 級 ・愛玩動物飼養管理士 2 級 ・乗馬技能検定 4 級、5 級 ・ECO アニマルコーディネーター検定 ・JESC 認定コミュニケーションスキルアップ検定			
（備考）（任意記載事項） ・2022 年度より開設したため、2022 年度卒業生なし ・現在 1、2 年生のみ在学中			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
71 人	4 人	5.6%
（中途退学の主な理由） ・進路変更		
（中退防止・中退者支援のための取組） 1. スクールカウンセラーとの連携を強化 2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る 3. 修学支援新制度・奨学金の活用などの指導を行う		

<table>
<tr><th colspan="2">分野</th><th>課程名</th><th colspan="2">学科名</th><th>専門士</th><th colspan="2">高度専門士</th></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>文化・教養専門課程</td><td colspan="2">エコ・コミュニケーション科（3 年制）
水族館
・アクアリスト専攻</td><td>○</td><td colspan="2"></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3 年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">2700 単位時間</td><td>390
単位時間</td><td>2850
単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">3240 単位時間</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>生徒総定員数</th><th>生徒実員</th><th>うち留学生数</th><th>専任教員数</th><th>兼任教員数</th><th>総教員数</th></tr>
<tr><td>エコ・コミュニケーション科（3 年制）
280 人の内数</td><td>304 人
（うち 75 人）</td><td>1 人</td><td>12 人
（うち 2 人）</td><td>102 人
（うち 20 人）</td><td>114 人
（うち 22 人）</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

毎年５月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後，年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。３月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。４月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。

①科目名（英語表記含む）
②学科・コース
③必修選択の別
④授業形態
⑤年次
⑥総時間（単位）
⑦担当教員
⑧開講区分、曜日・時間
⑨授業の学習内容と心構え
※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容
⑩到達目標
⑪使用教科書・教材・参考書
⑫授業外における学習
⑬授業概要・回数
⑭評価の方法、内容、時期等
⑮その他特記事項

成績評価の基準・方法

・出席率、授業態度と参加度
・臨時及び定期試験の成績
・レポート並びに課題成績
上記項目を総合的に勘案し、4 段階評価する

卒業・進級の認定基準

進級：各年次の合計修得単位が 900 時間(60 単位)以上
（実習科目を含む場合には、60 単位以下）
卒業：3 年間の合計修得単位が 2700 時間(180 単位)以上

学修支援等

・クラス担任制
担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）

（主な就職、業界等）
（水族館、アクアショップ、海洋関連施設を想定）

（就職指導内容）
・就職ガイダンス
（業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど）
・履歴書作成支援
・求人案内
・面接指導、就職筆記試験対策
・学内個別企業説明会、就職模擬面接会
・学内合同企業説明会(学内で各企業が説明)今年は６月に対面・オンラインで実施。

（主な学修成果（資格・検定等））
・一級小型船舶操縦士
・二級小型船舶操縦士
・特殊小型船舶
・PADI オープンウォーターC カード
・潜水士
・JESC 認定コミュニケーションスキルアップ検定
・販売士検定３級
・販売士検定４級
・生物分類技能検定３級
・生物分類技能検定４級
・愛玩動物飼養管理士２級

（備考）（任意記載事項）
・2022 年度より開設したため、2022 年度卒業生なし
・現在 1、2 年生のみ在学中

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
36 人	1 人	2.8%

（中途退学の主な理由）
・精神面で課題がある

（中退防止・中退者支援のための取組）
1. スクールカウンセラーとの連携を強化
2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る
3. 修学支援新制度・奨学金の活用などの指導を行う

<table>
<tr><th colspan="2">分野</th><th>課程名</th><th colspan="2">学科名</th><th>専門士</th><th>高度専門士</th></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>文化・教養専門課程</td><td colspan="2">エコ・コミュニケーション科（3年制）
水族館
・マリンリゾート専攻</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">2700 単位時間</td><td>420
単位時間</td><td>2595
単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">3015 単位時間</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>生徒総定員数</th><th>生徒実員</th><th>うち留学生数</th><th>専任教員数</th><th>兼任教員数</th><th>総教員数</th></tr>
<tr><td>エコ・コミュニケーション科（3年制）
280 人の内数</td><td>304 人
（うち 7 人）</td><td>0 人</td><td>12 人
（うち 1 人）</td><td>102 人
（うち 13 人）</td><td>114 人
（うち 14 人）</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

毎年５月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後，年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。３月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。４月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。

①科目名（英語表記含む）
②学科・コース
③必修選択の別
④授業形態
⑤年次
⑥総時間（単位）
⑦担当教員
⑧開講区分、曜日・時間
⑨授業の学習内容と心構え
※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容
⑩到達目標
⑪使用教科書・教材・参考書
⑫授業外における学習
⑬授業概要・回数
⑭評価の方法、内容、時期等
⑮その他特記事項

成績評価の基準・方法

・出席率、授業態度と参加度
・臨時及び定期試験の成績
・レポート並びに課題成績
上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する

卒業・進級の認定基準

進級：各年次の合計修得単位が 900 時間(60 単位)以上
（実習科目を含む場合には、60 単位以下）
卒業：3年間の合計修得単位が 2700 時間(180 単位)以上

学修支援等

・クラス担任制
担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）

（主な就職、業界等）
（水族館、リゾート施設等を想定）

（就職指導内容）
・就職ガイダンス
（業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど）
・履歴書作成支援
・求人案内
・面接指導、就職筆記試験対策
・学内個別企業説明会、就職模擬面接会
・学内合同企業説明会(学内で各企業が説明)今年は６月に対面・オンラインで実施。

（主な学修成果（資格・検定等））
・一級小型船舶操縦士
・二級小型船舶操縦士
・特殊小型船舶
・PADI オープンウォーターC カード
・潜水士
・JESC 認定コミュニケーションスキルアップ検定
・JHMA 認定アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ検定（3 年生のみ）
・Microsoft Azure AI Fundamentals AI-900（3 年生のみ）
・販売士検定 3 級
・販売士検定 4 級
・生物分類技能検定３級
・生物分類技能検定 4 級
・愛玩動物飼養管理士 2 級

（備考）（任意記載事項）
・2021 年度より開設したため、2022 年度卒業生なし
・2023 年度より募集停止のため、現在 2、3 年生のみ在学中

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
9 人	1 人	11.1%

（中途退学の主な理由）
・経済的な理由

（中退防止・中退者支援のための取組）
1. スクールカウンセラーとの連携を強化
2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る
3. 修学支援新制度・奨学金の活用などの指導を行う

<table>
<tr><th colspan="2">分野</th><th>課程名</th><th colspan="2">学科名</th><th>専門士</th><th>高度専門士</th></tr>
<tr><td colspan="2">文化・教養</td><td>文化・教養専門課程</td><td colspan="2">エコ・コミュニケーション科（2年制）
ドッグトレーナー
専攻</td><td>○</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業
年限</td><td rowspan="2">昼夜</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総
授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">1800 単位時間</td><td>660
単位時間</td><td>3195
単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td><td>単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">3855 単位時間</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>生徒総定員数</th><th>生徒実員</th><th>うち留学生数</th><th>専任教員数</th><th>兼任教員数</th><th>総教員数</th></tr>
<tr><td>エコ・コミュニケーション科（2年制）
160 人の内数</td><td>122 人
（うち 37 人）</td><td>0 人</td><td>4 人
（うち 1 人）</td><td>63 人
（うち 24 人）</td><td>67 人
（うち 25 人）</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

毎年５月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後，年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。３月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。４月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。

①科目名（英語表記含む）
②学科・コース
③必修選択の別
④授業形態
⑤年次
⑥総時間（単位）
⑦担当教員
⑧開講区分、曜日・時間
⑨授業の学習内容と心構え
※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容
⑩到達目標
⑪使用教科書・教材・参考書
⑫授業外における学習
⑬授業概要・回数
⑭評価の方法、内容、時期等
⑮その他特記事項

成績評価の基準・方法

・出席率、授業態度と参加度
・臨時及び定期試験の成績
・レポート並びに課題成績
上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する

卒業・進級の認定基準

進級：各年次の合計修得単位が 900 時間(60 単位)以上
（実習科目を含む場合には、60 単位以下）
卒業：2年間の合計修得単位が 1800 時間(120 単位)以上

学修支援等

・クラス担任制
担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
19 人 （100%）	0 人 （0.0%）	13 人 （68.4%）	6 人 （31.6%）
（主な就職、業界等） 犬訓練所、ペットショップ　他			
（就職指導内容） ・就職ガイダンス （業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど） ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・学内個別企業説明会、就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内で各企業が説明)今年は６月に対面・オンラインで実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・愛玩動物飼養管理士２級 ・優良家庭犬普及協会マナーハンドラーテスト ・ECO アニマルコーディネーター検定 ・JESC 認定コミュニケーションスキルアップ検定			
（備考）（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
33 人	2 人	6.1%
（中途退学の主な理由） ・精神面で課題がある		
（中退防止・中退者支援のための取組） 1. スクールカウンセラーとの連携を強化 2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る 3. 修学支援新制度・奨学金の活用などの指導を行う		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	エコ・コミュニケーション科（2年制） 総合ペットショップ専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800単位時間	600 単位時間	2910 単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			3510単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
エコ・コミュニケーション科（2年制） 160人の内数	122人 （うち26人）	0人	4人 （うち1人）	63人 （うち18人）	67人 （うち19人）

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

毎年５月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後，年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。３月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。４月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。

①科目名（英語表記含む）
②学科・コース
③必修選択の別
④授業形態
⑤年次
⑥総時間（単位）
⑦担当教員
⑧開講区分、曜日・時間
⑨授業の学習内容と心構え
※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容
⑩到達目標
⑪使用教科書・教材・参考書
⑫授業外における学習
⑬授業概要・回数
⑭評価の方法、内容、時期等
⑮その他特記事項

成績評価の基準・方法

・出席率、授業態度と参加度
・臨時及び定期試験の成績
・レポート並びに課題成績
上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する

卒業・進級の認定基準

進級：各年次の合計修得単位が900時間(60単位)以上
（実習科目を含む場合には、60単位以下）
卒業：2年間の合計修得単位が1800時間(120単位)以上

学修支援等

・クラス担任制
担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）	0 人 （0.0%）
（主な就職、業界等） （ペットショップ、ブリーディング施設を想定）			
（就職指導内容） ・就職ガイダンス （業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど） ・履歴書作成支援 ・求人案内 ・面接指導、就職筆記試験対策 ・学内個別企業説明会、就職模擬面接会 ・学内合同企業説明会(学内で各企業が説明)今年は６月に対面・オンラインで実施。			
（主な学修成果（資格・検定等）） ・生物分類技能検定 3 級、4 級 ・愛玩動物飼養管理士 2 級 ・ECO アニマルコーディネーター検定 ・JESC 認定コミュニケーションスキルアップ検定			
（備考）（任意記載事項） ・2022 年度より開設したため、2022 年度卒業生なし			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
6 人	0 人	0.0%
（中途退学の主な理由）		
（中退防止・中退者支援のための取組） 1. スクールカウンセラーとの連携を強化 2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る 3. 修学支援新制度・奨学金の活用などの指導を行う		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士
文化・教養	文化・教養専門課程	エコ・コミュニケーション科（2年制） ドルフィン トレーナー専攻	○	

修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1800単位時間	870 単位時間	2790 単位時間	単位時間	単位時間	単位時間
			3660単位時間				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
エコ・コミュニケーション科（2年制） 160人の内数	122人 （うち59人）	0人	4人 （うち2人）	63人 （うち21人）	67人 （うち23人）

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

毎年５月ごろ、教育課程編成委員会を開催し、次年度の教育課程編成の課題を検討する。その後，年末にかけて学生の就職先、研修先の企業との意見交換を行う。これを踏まえ、各科目の講師と打ち合わせを行い、シラバスを検討する。３月の講師会で、次年度の本校の方針を説明し、各科目のシラバスを決定する。４月に、各講師から、第一回目の授業で学生にシラバスを配布し、授業の目標、内容、評価方法について説明する。同時期にホームページにて公開する。

①科目名（英語表記含む）
②学科・コース
③必修選択の別
④授業形態
⑤年次
⑥総時間（単位）
⑦担当教員
⑧開講区分、曜日・時間
⑨授業の学習内容と心構え
※実務経験の内容、その経験を活かした教育内容
⑩到達目標
⑪使用教科書・教材・参考書
⑫授業外における学習
⑬授業概要・回数
⑭評価の方法、内容、時期等
⑮その他特記事項

成績評価の基準・方法

・出席率、授業態度と参加度
・臨時及び定期試験の成績
・レポート並びに課題成績
上記項目を総合的に勘案し、4段階評価する

卒業・進級の認定基準

進級：各年次の合計修得単位が900時間(60単位)以上
（実習科目を含む場合には、60単位以下）
卒業：2年間の合計修得単位が1800時間(120単位)以上

学修支援等

・クラス担任制
担任は定期的に個別面談を行うと共に、学生から相談があれば随時個別面談を行っている。また、長期欠席者への指導については、保護者にも連絡を取り三者面談を実施する。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
21 人 （100%）	0 人 （0.0%）	20 人 （95.2%）	1 人 （4.8%）

（主な就職、業界等）
水族館、ダイビングショップ、総合ペットショップ、海洋レジャー施設　他

（就職指導内容）
・就職ガイダンス
（業界人特別講話、業界研修に向けての取り組み、OB/OG セミナーなど）
・履歴書作成支援
・求人案内
・面接指導、就職筆記試験対策
・学内個別企業説明会、就職模擬面接会
・学内合同企業説明会(学内で各企業が説明)今年は６月に対面・オンラインで実施。

（主な学修成果（資格・検定等））
・一級小型船舶操縦士
・二級小型船舶操縦士
・特殊小型船舶
・PACI 検定
・PADI オープンウォーターC カード
・潜水士
・JESC 認定コミュニケーションスキルアップ検定
・JHMA 認定アソシエイト・ホスピタリティ・コーディネータ検定（2 年生のみ）
・Microsoft Azure AI Fundamentals AI-900（2 年生のみ）
・販売士検定３級
・販売士検定４級
・生物分類技能検定３級
・生物分類技能検定４級
・愛玩動物飼養管理士２級

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
55 人	5 人	9.1%

（中途退学の主な理由）
・精神面で課題がある　・進路変更

（中退防止・中退者支援のための取組）
1. スクールカウンセラーとの連携を強化
2. 動物の仕事のやりがい等を伝えモチベーション維持を図る
3. 修学支援新制度・奨学金の活用などの指導を行う

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	専攻名	入学金	授業料（年間）	その他	備考（任意記載事項）
エコ・テクノロジー科（４年制）	動物園・水族館＆テクノロジー専攻	100,000円	660,000円	913,500円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
	ECO アドベンチャーツーリズム専攻	100,000円	660,000円	843,100円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
動物看護科（４年制）	動物看護師＆ペットスペシャリスト専攻	100,000円	660,000円	1,012,500円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
動物看護科（３年制）	動物看護師専攻	100,000円	640,000円	912,100円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
エコ・コミュニケーション科（３年制）	ペットトリマー専攻	100,000円	640,000円	969,900円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
	動物園・動物飼育専攻	100,000円	640,000円	872,500円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
	水族館・アクアリスト専攻	100,000円	640,000円	851,700円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
エコ・コミュニケーション科（２年制）	ドッグトレーナー専攻	100,000円	640,000円	880,800円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
	総合ペットショップ専攻	100,000円	640,000円	844,200円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費
	ドルフィントレーナー専攻	100,000円	640,000円	859,400円	施設維持費/総合演習費/キャリア教育振興費/教本教材費/資格検定費/海外研修積立金/健康管理費

各学科（専攻）共通：休学者学籍管理料は 100,000 円。ただし、復学した場合には授業料に充当する。

修学支援（任意記載事項）
・給付型奨学金の採用候補者の取扱い ①入学金については、学籍確保のため、採用候補者であるなしにかかわらず、入学前に納入してもらっている。 ②その後、採用候補者であることが判明した場合には、入学金・授業料免除相当分を、入学前までに納入する「その他の納付金」に振り替えたり、入学後に返金している。 ・保護者・兄弟姉妹学費免除制度（入学者の保護者・兄弟姉妹が滋慶学園グループに在籍、もしくは卒業生の場合、初年度の学費の一部が免除となる制度）

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.eco.ac.jp/school/public_info

学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）

（１）学校関係者評価の基本方針

自己点検・評価結果について学校職員以外の関係者による評価を行うため、学校関係者評価委員会を置き、年に１回以上委員会を開催する。評価委員会は、本校教職員が行った自己点検・自己評価の内容を審議・評価することを通じて、学校運営の改善に活かすことを目的とする。
評価委員は、卒業生１名、保護者代表１名、近隣関係者１名、高校関係者１名並びに動物業界関係者５名の合計９名の委員定数で構成され、任期は１年である。
毎年５月ごろに開催している。

（２）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
（１）教育理念・目標	教育理念・目的・育成人材像
（２）学校運営	学校運営
（３）教育活動	教育活動
（４）学修成果	教育成果
（５）学生支援	学生支援
（６）教育環境	教育環境
（７）学生の受入れ募集	学生募集と受け入れ
（８）財務	財務
（９）法令等の遵守	法令等の遵守
（１０）社会貢献・地域貢献	社会貢献
（１１）国際交流	海外提携校との交流

※（１０）及び（１１）については任意記載。

（３）学校関係者評価結果の活用状況

継続的な取り組み（これまでの学校評価を踏まえ継続的に実施している内容）
・学生が心の悩み等で不登校や中途退学になり、修学を断念することが無いよう、学生相談窓口を徒歩３分の場所に設置し専属のカウンセラーを常駐し、心を支える取り組みをしている。
・卒後教育及び再就職サポートとして対面による面談のみならず、オンラインを含む相談窓口を用意し実践している。

昨年度の評価で指摘された事項で、留意して取り組んでいく事項
・専門家による日常的な指導は、大きな効果が見込めることから産学連携は一層推進すべきと思う。
・ECO は生命あるものを対象としており、人間力強化も望まれる。
・昨年に引き続きコロナ禍のためオンライン授業が必要となった１年であったため、子供たちのモチベーションを維持することが難しいと感じられた。実習等の現場での経験不足をどう補うかが課題であると思う。
・コロナ禍で厳しかった実習等を現場力強化のために重点的に実施していく。

・オンライン授業等々のおかげでコロナ禍である状況でも学校生活が送れている
とは思うが、コミュニケーション能力がさらに低くなったようにも感じている。
・リカレント教育制度は是非早めに導入して頂きたい。
・学力面を重要視し、一定の学力に達していなければ入学できないようにしていかないと、全体学力が低下しかねないと思う。
・コロナ禍で活動が制限されたことは仕方がないが、学生にとっては残念なことだと思う。

などの多くの意見をいただいた。

これらの意見を踏まえ、各部門で改善できる内容については、事務局長・教務部長・各学科長で協議し、更に教務会議及び全体会議等でこれらの意見をスタッフ全員で共有し、具体的な対策を検討しその実現を図っている。
教育内容については、毎年 5 月ごろに開催する教育課程編成委員会に評価委員会の意見を示し、その審議を踏まえ、年末までに学校長が来年度の教育課程の編成方針を決定する。この方針に基づき、教務部長が中心となり、この編成方針を教職員、講師の先生方にも徹底し、各教科のシラバスを作成している。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
動物病院　総院長	１年 2023.4.1～2024.3.31	業界関係者
水族館　職員	１年 2023.4.1～2024.3.31	業界関係者
ペットサロン　職員	１年 2023.4.1～2024.3.31	業界関係者
動物園　園長	１年 2023.4.1～2024.3.31	業界関係者
ペットショップ　職員	１年 2023.4.1～2024.3.31	業界関係者
高等学校　校長	１年 2023.4.1～2024.3.31	高等学校関係者
公民館　館長	１年 2023.4.1～2024.3.31	近隣関係者
卒業生代表	１年 2023.4.1～2024.3.31	卒業生代表
保護者代表	１年 2023.4.1～2024.3.31	保護者代表

学校関係者評価結果の公表方法

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）
https://www.eco.ac.jp/school/public_info

第三者による学校評価（任意記載事項）

ｃ）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.eco.ac.jp

（別紙）

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード	H140313000350
学校名	福岡ECO動物海洋専門学校
設置者名	学校法人滋慶学園

１．前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		182人	161人	187人
内訳	第Ⅰ区分	114人	103人	
	第Ⅱ区分	36人	42人	
	第Ⅲ区分	32人	16人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				187人

（備考）
・1名、給付型奨学金の受給のみ有り。学費は、長期履修の対象で授業料として徴収していないため、減免は無し。

※ 本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第４９号）第２条第１項第１号、第２号、第３号に掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

２．前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

（１）偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人

（２）適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	0人	0人	0人
修得単位数が標準単位数の５割以下 （単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の５割以下）	―	0人	0人
出席率が５割以下その他学修意欲が著しく低い状況	―	0人	―
「警告」の区分に連続して該当	―	0人	―
計	―	0人	―
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の（２）のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）			
年間	0人	前半期	0人	後半期	0人

（３）退学又は停学（期間の定めのないもの又は３月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
３月以上の停学	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

３．前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（３月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

３月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
（備考）	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

４．適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が２年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が２年以下のものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が標準単位数の６割以下（単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が標準時間数の６割以下）	0人	0人	0人
ＧＰＡ等が下位４分の１	21人	0人	―
出席率が８割以下その他学修意欲が低い状況	―	―	―
計	22人	―	―
（備考）			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。